

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語 V	
科目基礎情報							
科目番号		5C01		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生物応用化学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		アクティブ・リーディング Super (アルク)					
担当教員		横溝 彰彦					
到達目標							
1. 社会問題に関する英語の長文を読んで、論理構造を把握しながら文章の概要を理解できる。 2. 社会問題に関する英語の長文を読んで、使用されている語彙、文法、構文を理解できる。 3. 社会問題に関して、英語で自分の考えを述べるができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論理構造の把握		英文段落のトピックセンテンスとサポーティングセンテンスを把握しながら文章の概要を理解できる。		英語の長文の序論、本論、結論を把握しながら文章の概要を理解できる。		英文の論理構造を把握しながら文章の概要を理解することができない。	
語彙、文法、構文		辞書や参考書を自主的に参照して、使用されている語彙、文法、構文を理解できる。		教員の説明を聞いて、使用されている語彙、文法、構文を理解できる。		使用されている語彙、文法、構文を理解できない。	
話す力		前もって準備しておけば、流暢に英語で自分の考えを述べるができる。		前もって準備しておけば、英語で自分の考えを述べるができる。		英語で自分の考えを述べるができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE E							
教育方法等							
概要		社会問題に関する英文を読み、論理構造を理解しながら内容を理解するとともに、英語で自分の考えを述べるができるようになるための訓練を行う。					
授業の進め方・方法		教科書のテーマに沿った内容のスピーチを輪番で発表し、次週にレポートを提出してもらう。 毎回の授業の最初に、前回の授業の復習テストを行う。					
注意点		(1) 点数配分：中間試験35%、期末試験35%、小テスト10%、スピーチ課題10%、ネットアカデミー10% (2) 評価基準：60点以上を合格とする。 (3) 再試験を行う。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業準備、英文の論理構成、スピーチの発表とレポートについて理解する		
		2週	企業の環境意識		環境問題に関する企業の意識に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		3週	絶滅危惧種の保護		インドネシアの環境問題とオランウータン保護に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べることができる		
		4週	エコツーリズム		環境問題と観光に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		5週	地雷のある世界		地雷除去と科学技術に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		6週	飢餓のある世界		飢餓と食料問題に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		7週	Review		これまでの内容を復習する		
		8週	中間試験		これまでの内容の理解度を測定する		
	2ndQ	9週	中間試験の見直し		試験の結果を基に、これまでの取り組みを振り返り、改善点を考える		
		10週	格差のある社会		格差と社会構造に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		11週	医療支援		アフガニスタンとパキスタンの貧困と医療に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		12週	経済支援		バングラディッシュの貧困と経済支援に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		13週	教育支援		カナダの貧困と教育に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		14週	自立支援		コンゴの戦後復興と自立支援に関する英文の内容を理解し、自分の考えを英語で述べるができる		
		15週	Review		これまでの内容を復習する		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	前2

				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前2
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前3
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前3
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前4
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前4
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前5
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前6
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前6
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前7
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前7
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前9
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前9
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前10
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前10
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前11
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前11
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前12
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前12
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前13
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前13
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前14

評価割合							
	試験	小テスト	スピーチ課題	ネットアカデミー			合計
総合評価割合	70	10	10	10	0	0	100
基礎的能力	70	10	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0